敵機は狙ふこの隙
休日に浮かれるな

『防空の備へはよいか』廿四日の靖國神社春の臨時大祭に次いでけふ廿五日は日曜で官廳、銀行、會社、工場、學校は休みが二日續くことになる、それが、いま一億火の玉となつて防空體制に起ち上つてゐる最中なのだ、それなのに廿四日の緊張ぶりはどうだつたのか停車場は物見遊山の人々で溢れ電車は鈴なり、花に浮かれた夥だしい人々が出盛つてゐたではないか

四月に入り敵反攻の意圖はますます濃度を增し、すでに我々が指摘した敵の空襲態勢は着々と進んでゐるといふ、太平洋の某基地から姿を晦ました敵の航母は隙こそあらばわが上空に飛込まうとその機會を狙つてゐる、また支那大陸方面でも敵空軍は蠢動開始をするの 情勢漸く濃厚となつてきたため、わが荒鷲は常にその機先を制して、これを猛烈に叩きつけ叩きつけてはゐるが、なほも蠢動の野望を捨てず執拗に復讐を企てつゝある模樣でこゝに敵機空襲の可能性は現實として 目前に 迫つてをり、この情勢を朝鮮軍厚地大佐は警戒して、さきに『敵機は必ず來る』と放送、鐵壁の防空陣を促したではないか

わが國は如何なる山間僻地の寸土と雖も凡ゆる地點が悉く防空態勢にあらねばならぬ、勿論軍防空に關する限り既に鐵壁、萬全の陣が布かれてゐるが、この情勢下に果してきのふ廿四日の各都市の愛國班は緊張を保つてゐたであらうか一人々々が出歩いて行くことはその防空の陣から離れ、敵機に對して空の護りが裸になることだ、敵はこの隙を狙つてゐるのだ、けふ廿五日の日曜こそは防空用水や防空資材はもちろん、各家庭の待避所や床下、押入なども整理し、子供達には迷子札などを用意し、何時如何なるときにも對處し得るやう服裝は常に防空服を着用してすべて防空一點の體制に完璧の陣を布かう、一人々々が防空戰士だ、銘記せよ敵空軍の蠢動を……

殉國烈士の招魂祭
卅日龍山練兵場で

靖國神社に御鎭まります護國の英靈ならびに明治以來の事變に華と散つた殉國烈士の偉勳を讃へる招魂祭を京城府主催のもとに來る卅日午前十時半から龍山練兵場で嚴肅盛大に執行する

世界的代用燃料
別の『ガス用炭』と『松炭油』
總督府の手で大增産

[illegible]、松炭油、この廢炭がガス用炭であるが、松炭油は揮發油、ガス用炭は自動車などにりつぱに利用出來る木炭ガスといふ何れも世界的な代用燃料であるので、總督は[illegible]後、早速各方面を通じて研究を重ねたところその原料、生產な[illegible]に自信を得て全鮮的に一大增產計畫を樹立した、かくて總督府では去る廿三日本府に鷲田農林局長、横山林政、石田林業兩課長、各道山林技師、營林事業所主任それにこの創案者である全北古賀山林課長らが集つて增產打合會を開いた結果、今後三個年計畫でガス用炭五千萬キロ、松炭油千三百萬立を增產、この中、初年度の十八年度には松炭塊百卅萬立、ガス用炭五百萬キロを作り出すことに決定、このため先づ廿五日から廿九日まで全北金堤に關係者からなる現場講習會を開いて目的完遂に完璧を期することになつた

噫、聖なる一瞬
御親拜の時刻 一齊に祈る共榮圏

【東京電話】新祭神一萬九千九百八十七柱の御靈永遠に御鎭まる靖國の杜では廿四日には畏くも天皇、皇后兩陛下の御親拜を辱うして四萬遺族は聖恩の有難さに感涙に咽んだが御親拜の午前十時十五分國民默禱の時刻には老いも若きも前線も銃後も一億國民齊しく靖國の方向に正對して新祭神に心からなる祈念を捧げた、決戰の渡つ雕中、極北アリユーシヤンに執拗な敵反擊を邀へてゐる勇士も一瞬手を休めてありし日の戰友の英魂を偲べば、また大陸の野に南海の果に不斷の激闘をつゞける陸海軍勇士も遙かに榮光の宮を拜し、鑛山に工場に或は農地に挺身する產業、食糧戰士、さては道行く人も家庭の主婦もはたと働く手を止め歩みを止めて心からなる祈りを捧げた、この聖なる一瞬、やがて敬虔な祈りを終れば逞しい決戰日本の諸機關は再び活潑な動態に復したのである

優しい東條首相
いち／＼犒ふ遺族席

【東京電話】至尊の御姿を若葉薫る靖國の御社に拜して四萬の遺族が感涙にむせんだ廿四日、新門の內側向つて右端の遺族席に幼年學校の生徒とその母が感激の瞬を剛めて 陛下の御着を御待ち申上げてゐたが、午前九時十五分ごろ參着した東條首相が、いちいち丁寧な擧手の禮を返しながら、兩側の遺族たちにも思ひやり深い眼差を投げつゝ歩いて來たが、その前まで來るとつか／＼と歩み寄つて『何處の幼年學校か』とたづねやさしく頭を撫でて行つた

この感激の親子は、部隊長として中支に活躍中不幸病を得て去る昭和十五年十月戰病死した井上官一少將の次男大阪幼年學校在學中の武昌君（一七）とその母初子さん（三七）で、長男尚直君（二〇）は今大阪陸軍幼年學校にあるが武昌君は特に許しを得て今日の光榮の庭に列したものだつた

【寫眞】遺族にやさしく話しかける東條首相＝電送

奉拜の光榮
善行遺族八名

[illegible]

また大鳥居の下左側に居並ぶ[illegible]川縣遺族の最前列にひれ伏[illegible]いた軍國の母、この人は石川[illegible]郡瀧尾村の大島ひささん[illegible]一人息子の一男上等兵が昭和[illegible]年の夏北支で護國の華と散つ[illegible]回の大祭にあたりひささん[illegible]て遺族の席に參列、この光[illegible]したもので、ひささんは去年[illegible]經痛で足腰たゝず上京を危[illegible]たが、[illegible]などの肉親も及[illegible]切により今日の參拜にも[illegible]れて參列出來たのだ、聖姿[illegible]ののち空を仰ぐひささんの[illegible]の本の御國に生きる感激に[illegible]ゐた

奉曳の宮柱、聖都へ
忠南道民、光榮の奉仕

[illegible]奉仕したのであるが、昨夜神都[illegible]路を辿つた光榮の奉仕團員は[illegible]る日午前五時半から悠久として[illegible]白馬江で禊をなした後、一[illegible]遊覽地に至つて奉仕作業に[illegible]を捧げて晝食、午後は更に口[illegible]繼ぎ神代風の純白の奉曳衣に着[illegible]ていよ／＼神域への奉曳車の

[illegible]官公署代表廿名、愛國班代表卅名側に控へれば午後三時本府鈴木祭務官及び江景神社井上神官主宰の下に馬場忠南內務部長、早田學務課長ほか本府關係官多數臨席し地元茂井郡守、宮內署長をはじめ數百名も參列して、いと嚴かに大祓の神事が執り行はれた、この日扶餘住民の赤誠で奉曳の御道筋には千四百間の注連繩を張られて淸爽された道路の兩側には數萬の拜觀者が襟を正して並ぶ、間もなく高雅な木遣り歌が歌ひ出され御用材は靜かに進められる、しづ／＼と進むその奉曳車に取付けられた二本の綱は奉曳奉仕の喜びを[illegible]

[illegible]神宮御造營に伴ひ一千四百年前[illegible]き誇りし內鮮一體の史實も顯はしき傳統は昭和十四年六月昭らけく神宮御造營の御出でとなり、五風[illegible]る勤勞奉仕によつて御造營[illegible]地ならしは愈々本月を以つての豫定で工事を進めてゐる、御用材は廿四日 忠南 百六十[illegible]

海へ老木も赤欅
倭城台の五本献材

船、船……七つの海を征服して南から北から軍需資材をどつさり運んで大東亞戰を勝ち抜くためには小型木造船を一隻でも多く生產せねばならない、半島に木材が要る、津々浦々にいたるまで『よーし、一本でも多く供出しよう』と〝造船報國〟の決意は固い、今話題の京城で古い樹齢を誇る倭城台始政記念館の松、櫻、欅が達々しく應召する、加藤館長が吾が子のやうに愛で育てた末口八寸の松は明治十八年現在位置に日本公使館の建設さるゝ以前に植ゑられてゐたもの、櫻、欅各一本何れも樹齢七十年を超ゆる由緒の古木で半世紀に亘る朝鮮統治の跡をその思ひ出に秘めて今決戰下に勇躍應召するのも一際感慨深いものがあらう、廿四日加藤館長は語る

この節ですからお役に立つ物はどし／＼お上に使つて戴きたい、先日總督府營繕課と海事課の方が見えて松櫻欅五本を獻材に決定、吾がことのやうに喜んでゐます【寫眞＝始政記念館の櫻の獻木】

〝醫學半島〟の誇り
城大藥草研究所晴れの開所式

【濟州島にて白川特派員發】城大が全國帝大に魁けて大東亞共榮圏內各地に產する藥草を栽培、研究して 共榮圏の醫藥の 自給自足をはからんと一昨年の春以來百萬圓を投じて建設を急いでゐた城大生藥研究所濟州島試驗場は、耕作面積二萬二千坪に亘る東亞隨一の大藥草園をこのほど完成、萬端の設備なり試驗室及び職員宿舍なども落成したので、既に杉原所長以下全職員が日夜栽培や研究に全力をあげてゐるが、記念すべき晴れの開所式を廿四日午後四時から花薫る常春を誇る漢拏山の麓の西歸面吐坪里の同研究所で、盛大に擧行した

城大側から篠田總長代理佐藤醫學部長をはじめ內藤法文學部長、大內學生課長、船林眼科教授、田園圖書館長並に堀江事務官以下研究所員が列席、來賓として武永全南知事代理岡部警察部長、玉田齒專校長、京城齒專校長代理與樂學教授、地元から坂本濟州島々司ほか官民有志三百名列席

先づ國民儀禮の後、杉原所長から研究場建設についての經過報告があり『我々はこゝに主として南方共榮圏諸地域の各地に產する藥草を栽培研究して半島は固より全共榮圏住民たちの醫療の藥材を立派に自給自足させる覺悟で研究に挺身奉公するつもりでこの意義ある日に皆樣に約束致します』と力强い決意をのべたのち、來賓代表として武永全南知事の祝辭を阿部警察部長が代讀、醫學半島が誇るべき研究所の前途を祝福した、終つて春空にへんぽんとひるがへる大日章旗のもとに野外祝宴を開き、白雪を頂に かざつた 漢拏山の麓を背景に決戰調の祝盃をあげ、この島名產の薩摩芋料理に一同舌鼓を打つて歡談、坂本島司の發聲で萬歲を奉唱して同五時閉式した

戰ふ皇國の春を謳ふ

大御稜威あまねき旗風に、十三道は、空晴れて…大東亞も揺げと歌ふ二萬人の大合唱健全娛樂を標榜する總力聯盟が歷史の春に贈る歌の饗宴『米英擊滅國民 大合唱 野外音樂會』は靖國神社臨時大祭の廿四日午後二時から櫻咲き誇る京城昌慶苑の大廣場で盛大に行はれた、この日會場には身動きも出來ぬ程の人が集り、國民儀禮のゝち津田聯盟宣傳部長の挨拶があつて愈々京城吹奏樂團の軍艦行進曲によつて戰ふ皇國の春にふさはしい音樂會の幕が切つて落された『双頭の鷲』から『興亞行進曲』とつゞき待望の總督府選定『半島青年の歌』が混聲合唱團の參加で合唱されるや二萬の會集もこれに和し引續き『アジヤの力』が勇壯に演奏され四時すぎ嵐の如き拍手の裡に會を閉ぢた【寫眞＝米英擊滅野外音樂大會】

自由立候補返上
植田國境子 淸々しい心境

『自由立候補なんてもつての外』とばかり、推薦候補者五十六氏の發表のあつた廿二日夜、推薦に漏れた一現議員が口惜しがるかと思ひのほか、充分に投票獲得の自信があるにも拘らず是非にと勸める人々の言葉を斥けて遂に『自由立候補は戰ふ皇國のお邪魔をすることにすぎん』とばかり、敢然として引きさがり新制度による選擧制度に心から協力することとし、その決意をこのほど所轄の城東警察署長に文書をもつて通知、態度を明かとし明朗な選擧餘話を織りなした、話題の主はいま全國に白頭山節、鴨綠江節の原曲作者として知られる京城新堂町櫻ケ丘植田國境子こと植田群治現府議であるがなほ氏は立候補辭退の辭を次のやうにお得意の白頭山節に示して翼贊府民としての心意氣を見せた

心合せて赤心一票、月は冥加の胸に澄む、見せてやりたい心意氣心意氣

また、植田城東署長宛に寄せた一文には

取急ぎ一筆、今回府議改選に際し自由立候補すべきや否やにつき、知己友人や專業關係者及び町會役員の人々と廿二日夜面接（中略）身を持することにより非常時局下、官の施政方針に順應することが『隴ちてし止まむ』の一義と信じたり（中略）以上の狀況にあるを以て自らの立候補を止め一意物資の增產に努め（以下略）

と述べまた同文の末尾には

あかおとし、湯殿の窓の花見かな

極樂は道にありけりさくら咲く

の二首を添へて淸々しい心境を見せた【寫眞＝語る植田國境子】

精神力で 再起奉公
傷し高氏の敢闘

銃後國民の心からなる感謝をこめた軍援運動の麗はしく展開せらる中に、これは傷痍の身を自らの力で起ち上つて再び職域に力强く奉公してゐる勇士がある……コト／＼と兩杖に縋つて不自由な身を運ぶ京城中央鐵道局構內食堂事務所の堤高氏、毎日地階の事務所から二階の食堂へ幾回となく狹い階段を登る毎に身は鍛へられて行く、これが氏の日課であるともいへよう

去る昭和十二年、山西の大追擊戰に左肩から右肩へ貫通した敵彈は遂に氏の脊髓を傷けた、そのために四肢は全く活動源を失つたやうに動かなくなつてしまつた

だが『何くそ、これぱかりの傷くらゐ』と除隊後は只管回復につとめた、妻あつてその熾烈な精神力は氏をして再び起たしめたのだ、手篤い軍援事業の手によつて、堤上等兵は間もなく元の鐵道局へ復歸したが、流石に苛酷しい乘務は出來ず、今の事務所に奉職した

不自由を克服することは易興の戰ひで體驗しました、五日間はまるで飲まず食はずで敵を追ひまくつたのですが、あの時は誰く居は倒れても人は倒れず、精神力の偉大さを充分味ひましたと語る堤氏は毎日、遠い黑石町の軍人住宅から通ふにも二本の杖でコツ／＼と歩いてくるのだ、冬の日など、全身が痺れて思はず凍つい大地に伏すときもある、しかしその時こそ、誰の力も藉らず獨力で起ち上ることに自らを勵ました

溫い皆樣のおかげで滿ち足りた生活を送つてゐる私、仕事はまるで遊ぶやうな樂な仕事です、これでは誠に國家に對しても申しわけがありませんから、早く元通りとはいはぬまでももつと動けるやうになつて多忙な鐵道事務への奉仕を行ひたいと思ひます

傷痍を霞地に生かして再起奉公に一念を燃けてゐる傷痍の人、堤高氏は今樂しく安恵夫人（三七）と共に一男二女を雖げて幸福な生活に愼ましくも靖國の友を偲びつゝ感謝の日を送つてゐるのだ

學生機甲訓練修了式

機械化國防協會朝鮮本部主催第九回學生機甲訓練修了式は廿五日午後二時から京城齊堂町同協會訓練所で行ふ、今回の修了者は昨年十一月入所の大學專門學校參加學生六十五名中の卅二名でありうち三名は本部長より表彰をうける

花の下でも錬成

天神さまは書道の神様

咲誇る櫻花の意氣とくれない花びらの一片二片が靜かに硯の池に浮かんでゐる、『天神さまは書道の神様、どうぞ上達しますやう』と社殿前に頭をその儘に赤い頬にグルツと大きい目玉を輝かせて今しもグツと筆を下ろす、半紙いつぱいに見る〳〵『必勝』『米英降伏』の文字が躍つて、な書道錬成のひとゝきを過す南山國民學校北村武彦君以下の奉納書方を最後に廿四日には京城神社南山天滿宮には府内公立國民學校五十一校八百六十四學級生徒の優秀作品全部が献納された、春まつりに參詣者の雜沓する天滿宮例大祭の廿四日から廿六日まで三日間境内に『府内學童神前展覽會』が催されて郷土色豊な祭典の奉納風景に一際賑かしい情景を添へてゐる【寫眞＝南山天滿宮祭に奉納書方】

皆さんもしつかり

支那を救ふものは日本人だ

武者小路氏圍む座談會

聯盟文化部主催の『武者小路實篤氏を圍む座談會』は廿四日午後七時半から京城遞信局樂會館三階で武者小路氏及び谷川徹三、内山完造三氏を迎へて府内の文學に趣味をもつ人々や知識人百餘名を集めて開催、津田宣傳部長の開會挨拶について内山氏は

朝鮮は二度目ですが私の目にはこちらの人々は顔つきや身體も非常に内地人に近いと思ふ、切つても切れない間柄を感ずるので今後も充分研究します、死んだ魯迅氏は支那を常に暴露したが必ずしも憎しみからでなく支那の缺點を指摘し支那の病態を治すためのものであつた、支那に〝馬々虎々〟の言葉があり、いゝ加減ではつきりしないことが滅亡のもととなつてゐるが之を救ふものは日本人であると喝破した

とのべ谷川氏の感想について武者小路氏は洒脱な口調で東京人を通じて觀た日本人の覺悟を語り日本人は實に強い、將來とも勝抜くであらうが敵國米英人は決して他國の物を學ばうとしない、日本人はガツ〳〵と常に勉強するが、この意氣で世界中に根を張り滋養分をとるべきだ、日本人に生き拔いて大きな文學を打樹てるための勉強も大いにやるつもりですが、皆さんもしつかりした確信の下によい意味の貪慾心を働かせて滋養分を攝り輝かしく美しく祝福された生活を持ちたい—と結び座談に入り同十時閉會した【寫眞＝同座談會】

選擧も決戰態勢

逞しい翼賛運動を展開

既報＝選擧事務所の合同や立看板ビラの廢止などで進むことになつた元府尹の伊達四雄氏はじめ五十六名の榮ある推薦をうけた京城府議立候補者は、早くも共同選擧事務所の府民館内で逞しい翼賛運動を展開したが、更に決戰下の議正選擧を誓ふため、廿六日午後一時一同事務所に勢揃ひの上改めて威儀を正して朝鮮神宮に參拜、推薦立候補の奉告をも併せて、神前に固き誓ひを立てることになつた

上棟式

龍山加藤神祠

盛大に擧行

このほど新築した龍山加藤神祠の上棟式を靖國神社臨時大祭の廿四日午前十一時から來賓關係者約三百名列席のもとに盛大に擧行した

式は先づ厳かな修祓にはじまり祭主竹下宣備氏の祝詞奏上、立柱、上棟の儀のうち工匠長、石原新樂朝成會長、河村朝鮮社寺工務所長、古市京城府尹（代理）谷軍龍山署長、平田學校長代表、賀田直治氏の順でそれ〴〵玉串を奉奠ののち撤饌、昇神の儀で式を閉ぢたがそれより一同直會に移り午後一時終了した

軍人遺家族を心から慰問

軍援昂揚運動

前線と銃後を限りなき感謝で結ぶ軍人援護精神昂揚運動は廿三日から向う一週間に亘つて、全國一齊に展開されたが〝銃後の感謝は先づ私たち乙女から捧げませう〟と京城蓮池町貞信女學校では次の如きその行事を取きめ、第一線將兵の勞苦を偲ぶとゝもに軍人遺家族を心から慰めてゐる

廿三日軍人援護講話會開催▲廿四日慰問文作製▲廿五日慰問袋作製▲廿六日遺家族並に出征軍人家族慰問▲廿七日傷痍軍人を迎へ、慰安庭球大會開催

強く正しい健民へ

兒童愛護ポスター全鮮に配布

立派な身體を作つてお國に捧げようと來る五月一日から十日間に亘つて恒例の〝健民運動〟が全鮮一齊に展開されるが例年行つて來た〝兒童愛護週間〟は今年から健民運動を通じて行はれることゝなり總力聯盟、社會事業協會では多彩の運動行事の中に特に兒童愛護精神の昂揚につとめる一方日本の子供を強く立派に養育しようとこのほど兒童愛護のポスターを作成し全鮮に配布、次代國民の養成に全國と力を注いでゐる【寫眞＝兒童愛護ポスター】

健民運動 自五月一日 至五月十日

兒童愛護

憎らしい禿鷹

マユ戰線雜話

【マユ半島前線〇〇にて廿四日同盟】マユ戰線に從軍して得た斷片的な雜話をこゝに拾つて紹介してみよう

◇

今度の作戰でわが軍が最も苦心したのは食糧、彈藥の補給であつた、マユ河のわが水上輸送を妨害するため數隻の敵砲艦が勇敢に挺進して上流に潜入し、月のない夜はこの砲艦が補給路に迫り、わが舟艇を砲撃する、されに敵はハリケーン戰鬪機が絶えずマユ河上空に哨戒してゐるので晝間の行動がとれない、月夜には矢張り戰鬪機が月明を利用して船が白い波をのこして走るのを探し當てバラバラと機關砲の掃射を加へて來る、マユ河上流四十キロあたりでも河幅二千メートルはあり、うす黒く濁つた水を滿々と湛へ、河の眞中あたりで、敵に發見されたらおしまひである、記者はこの水路を兵隊と一緒に對空監視をしながら月明下に數回往復したが、月明りの中を低く飛ぶ黒い敵機を發見したときは思はず身がひきしまり、マユ河の渡過は何度繰返してもスリル滿點である、時にははちやりと水沫をあげて大きな魚が船の中へとびこんで來て『明日のおかずが出來たぞ』と兵隊を喜ばすこともある

◇

今度の作戰では兵隊の間でも、『チヤーチル給與』が最流行してゐる、敵は退却のとき出來るだけ殘すまいと努めるが、狼狽したときは食糧として逃げる、ポンベイおよびカルカツタ製のミルク、パインアツプル、コンビーフの罐詰、醫藥品などいろ〳〵あり、その他唐辛子、カレー粉などそれは印度兵の食糧である、兵隊はこれをそつくり頂戴し敵の置逃げした馬を拾つて荷物を運び、鹵獲のチエツコ機銃の銃口を揃へ敵の彈で攻め立てる、時には敵の裝甲車や自動車などを頂戴してベンガル灣の岸を彈藥糧秣を運ぶあたりはマレー作戰の再現であつた、英國兵が落して逃げた慰問の手紙はほとんどラブレターばかりである

◇

アラカン地區特にマユ河流域とマユ半島一帶は米や野菜を産すが、今はほとんど食糧らしいものがなく、果物もない、あるのはマンゴーくらゐのもので、これもまだ青くて酸つぱい、しかし皮を脱いで輪切りにし、これを鹽漬にするとうまい漬物が出來て青物に乏しい陣中では兵隊を喜ばせた

◇

兵隊がいちばん困るのは水の缺乏いことである、ベンガル灣岸などはクリークの水で飯を炊くと粥が出來てしまふ、こんな水を飲めば飲むほど咽喉がかわく、谷間に時折見つけ出す水はマラリヤ蚊のわく汚い水が多い、時には僅かに水氣のある谷間を見つけこれを確保し、滲み出て來る汚い水にやうやく渇をいやすこともある、今度の作戰ほど兵隊が水の有難さを感じたことはないであらう

◇

激戰の行はれた後には必ず禿鷹の群を見る、翼をひろげると五尺はあらう、これが馬の死肉や戰屍を見つけて飛び降り、鋭く曲つた嘴で肉を貪り食ふ様はいかにも凄慘で憎らしいものである、それに此の禿鷹はスパイの役目をする、兵隊や馬が舍營してゐるのを見つけると餌を探してその上空を群をなして旋回するからである、屍肉で肥つた戰場の禿鷹…これほど不愉快な鳥はない

府廳全員の勤勞作業

靖國神社臨時大祭の廿四日、全國一齊に英靈に感謝、各官廳、學校、銀行、會社は謹んで休日をとつたが京城府ではこの銘記すべき日を感慨深く過す爲古市府尹以下千三百名の府廳職員が午前九時から金湖宅地造成地附近で勤勞作業を實施、愛國登廳壕を作るなど尊い汗を流して午後三時散會した

講演會 京城旭町教會では大阪聖和女子學院教授近藤良董氏を講師に迎へ、廿五日午前十時十五分と午後七時卅分の二回に亘り同教會で講演會を開催する、演題は『古典と基督教』となつてゐる

警官も錬成

【高原】國民皆錬成の時局的要請にかんがみ高原警察署では署員をして國民運動の推進力たる自覺を促し、國體本義と道義朝鮮確立の理念を透徹せしめ不撓不屈の殉國的精神と體力を涵養するため特別錬成を實施、多大の成果を收めつつある

街の慰問袋

幼稚園の百年戰爭

強い子、明るい子を育てようと兒童愛護週間が始まる百年戰爭を勝抜くためには次代の少年に期待するところが大きい、友の會生活團の營む明治町兒島氏邸内の幼稚園を覗いてみる、けふは水曜組の五、六歳組で廿八名の男女兒童は矢島セイ子女史や若い先生達に紙芝居で『喰物に好き嫌ひなく歯はよく磨くんですヨ』と敎へられたり色紙でカブトを折つたりオルガンに合はせて『むすんで、ひらいて…』と遊戯の終りに正午のサイレンさあおとなしく默禱です、ヨイコたちはすくすくと育つて正しい理解を深めてゐます【寫眞＝友の會の幼稚園】

ラジオ 25日

朝 六・三〇『靖國の精神』高碑覺昇 2朗吟『寄家兄官志』ほか▲九・〇〇勝利の記録（錄音）第七十一輯▲九・三〇吹奏樂『空軍の威力』ほか▲一〇・〇〇週間錄音 2國際放送（ベルリンより）

晝 〇・三〇 1喇叭吹奏『國の鎭め』ほか、2ハーモニカ合奏『アジヤの力』ほか、3喇叭吹奏『英雄行進』▲一・〇〇（城）【傷病將士慰問の午後 1京城陸軍病院 愛國館より 中繼—】1合唱『僕等の歌』京城子供唱歌隊、2『再起奉公の決意』辻林上等兵、3朝鮮民謠『アリラン』ほか申一仙、4浪花節『見よ半島青年』崔八根、5軍國歌謠『心のふるさと』ほか水谷たか子ほか

夜 六・〇〇『少年團體』小泉忠ほか▲六・三〇（滿）生產戰士の時間 1『決意』宗俊嘉壽ほか、2吹奏樂『アジヤの力』ほか高周波城津工場吹奏樂團、3詩吟指導 平井文雄、4養成の朝—從業員養成所にて▲七・二〇1大東亞に呼ぶ『戰場の武士道』櫻井忠溫 2週間戰局▲八・〇〇1ピアノ獨奏『舟唄與へ長調作品六〇』野邊地瓜丸 2前線の歌銃後の歌『つはもの〻歌』ほか內田榮一ほか▲九・〇〇（城）歌唱指導『半島青年の歌』河大熙（城）舞臺劇『エミレーの鐘』劇團現代劇場

大いなる祭【125】

中野實（作） 三芳悌吉（繪）

脱出（九）

蛋民船の中だ。

『白蘭さん、もうこゝまでくれば大丈夫よ』

英子は薄汚い服に顔へ油を塗り、どう見ても、廣東の女勞働者。目ばかりぎよろりと光つてゐる。

白蘭は無論逃げ出す氣もなかつたが、有無を言はさず連れ出されて、これも、どうして用意してあつたものか、見すぼらしい木綿服に着かへさせられて、こゝまで來てしまつた。一切が夢のやうな氣がするばかりである。

玉英がどうして部屋の鍵を手に入れたか。厳重な警戒線をどうしてかうすら〳〵と突破出來たか。ふと、そんな疑問も起らないではなかつたが、敏捷な英子の行動にすつかり氣を呑まれて、白蘭は、彼女の爲すがまゝに、身をまかせてゐたのである。

『さ、これからの計畫ですわ』

と英子は云つた。

『第一に張さんと連絡をとらなければいけませんわ。どこか、心當りはないんですか』

『玉英さん』

と、白蘭はまだ夢見るやうな面持で、

『あたしは、まだ、今自分が何をしようとしてゐるのか、はつきり判らないの。これが現實か、それさへ、はつきりしないんだわ』

『なにを云つていらつしやるの』

と英子は怒つたやうに、

『あなたのすることは潰滅に瀕してゐるわれ〳〵の仕事を再建することですわ。そのためにはもう一度ちりぢりになつた同志を集めることだと思ひますわ』

『あたしには、もう、そんな氣持もない。そんな男氣もない……』

『また、あなたは、そんなことを……』

『いゝえほんと』

白蘭は涙をうかべて、

『あなたに逃げようといはれた時にも、あたし、まだ、そんな氣はなかつた。その私がどうしてこゝまで逃げて來たのか……。何か目的があつて逃げて來たのなら、判つてゐます。でも……』

白蘭は、そつと、水面に目を落して云つた。

『あたしには、判らない。判つてゐるのは、玉英さん。弟のことだけ……』

『恐らないで聽いて頂戴。あたしは、今も弟のことを思ひ出してゐるの。あたしの郷里、朝鮮の大同江で、あたしたちはよく船を浮べて、遊んだものですわ。さう。いつだつたか、こんなことがあつたわ。あんまり遊びに夢中になつてゐたもんだから、足をふみすべらせて、あたし川の中へ落ちたことがあるの。恰度水の出てゐた時で、あたしは、あつといふ間に流されて、もう、誰をよぶことも出來ないの。大同江は、この揚子江よりも、もつともつと激しくて、川の流れが急なのよ。あたしはもう駄目かも知れないと思つたわ。そしたら、弟が、みんなのとめるのもきかずに、その流れの中へ、飛び込んで來てくれたんで……。溺れてゐるあたしの手をつかつておいで、と叫んだあの聲が……玉英さん。あたし、卑怯なんだらうか。いゝえ、あたしは、今もあの時の仁鐵の聲が、この川底から聞えてくるやうな氣がするの。それは、別に、なんの意味もない過去の思ひ出のくせに、あたしをひきとめる、あたしを今の仕事からはなさうとする弟の聲のやうにきこえてくるわ。あたしは、もう……』

白蘭は、そこまでいふと、せきあげて、につツ伏した。

兩陛下、九段へ行幸啓
畏し、靖國神社に御拜
四萬の遺族感涙に咽ぶ

【東京電話】護國の英靈一萬九千九百八十七柱を新に合祀する靖國神社臨時大祭第二日の廿四日、畏くも　天皇、皇后兩陛下には同神社に行幸啓あらせられ　新祭神をはじめ　護國の英靈に親しく御拜あらせられ、參列の遺族はもとより一億國民は齊しく大御心の畏さに恐懼感激申上げた

けふぞわが肉親の前に畏くも　天皇、皇后兩陛下が御親拜あらせ給ふ光榮に胸とゞろかす四萬遺族は早朝より各入口より參着、淨域の玉砂利に坐して早くも聖駕の御着を御待ち申上げる、午前十時御先着の高松宮殿下をはじめ奉り各皇族方には本殿前の御席に御着席あそばされ、中門内拜殿前にはすでに東條首相、嶋田海相をはじめ各閣僚、文武顯官、豐田大祭委員長以下在京陸海軍、各官衙、學校、東部軍各部隊、合祀關係部隊の各代表など奉迎の位置に粛然として着席、鹵簿を御待ち申上げた

畏くも　天皇陛下には御軍裝にて百武侍從長陪乘、松平宮相、蓮沼侍從武官長、大丸行幸主務官以下供奉の略式自動車鹵簿にて午前十時宮城御出門、御順路を靖國神社に行幸あらせられた、君が代の奏樂が神域に流れ御道筋の兩側を埋める遺族の胸にひびく、このとき、十時十分鹵簿は境内にさしかゝるころ既に御徐行あそばされ深く頭を垂れて奉迎する遺族が靜かに仰ぎ奉ると咫尺の間、聖駕は靜々と　進御あらせられる、感激の涙に　拜する龍顔のたゞ尊く、畏かしく恐懼奉迎申上げるうちに鹵簿は中門内に進御、高松宮殿下をはじめ奉り各皇族殿下、東條首相、嶋田海相、豐田大祭委員長以下文武顯官らの奉迎をうけさせ給ひ、拜殿前に着御、豐田大祭委員長の御先導、東條陸相、嶋田海相扈從申上げ祓所に進ませられ、御手水、御修祓の御のち鈴木宮司御先導申上げ本殿内御拜座につかせられ給ひ、御玉串を畏くも御手にとらせられて親しく新祭神をはじめ護國の英靈に御拜あらせられた

このとき午前十時十五分、森嚴の氣淨域に滿ち參列の顯官をはじめ四萬遺族ら瞻として拜禮、全國津々浦々一億民草一齊に護國の英靈に默禱を捧げた、やがて　陛下には御拜を終へさせられ同廿分陸軍軍樂隊の君が代奏樂、諸員奉送裡に遺族に御會釋を賜ひつゝ靖國神社御發御、還幸あらせられた

ついで皇后陛下には純白の御洋裝にて保科女官長陪乘、廣幡皇后宮大夫、小出行啓主務官以下供奉の略式自動車鹵簿にて午前十時三十五分宮城御出門、遺族の席前では特に御徐行あそばされ御會釋を賜ひつゝ拜殿前に着御、豐田大祭委員長の御先導にて祓所に進ませ給ひ御手水、御修祓ののち鈴木宮司御先導申上げ本殿内御拜座につかせ給ひ畏くも玉串を御手にとらせられて親しく御拜あらせられた、御拜を終へさせられた陛下には同五十分諸員奉送裡に靖國神社御發、還啓あらせられた

ついで高松宮殿下をはじめ奉り在京の各皇族殿下の御拜禮、諸員拜禮、遺族の昇殿參拜が行はれたが、參列遺族は　兩陛下の御姿を拜する光榮にたゞ感泣するばかりであつた、かくて大祭第二日の儀は感銘一入深く滯りなく終つた

現地派遣軍の遙拜式

比島派遣軍

【マニラ廿四日同盟】比島派遣軍では廿四日午前十時から田中最高指揮官以下幕僚職員參列の下に遙拜式を擧行、皇上御親拜の時刻を期して一分間默禱を捧げ、南に北にあがる大東亞の歷史的な勝鬨を耳にしながら雄々しく散つた殉國の英靈に感謝を捧げるとゝもに聖戰完遂に新たなる邁進を誓つた

わが軍事方面を視察

全支司法檢察領事會議

タクルーナで激戰
チュニジャ戰線最高潮

【リスボン廿三日同盟】決戰段階に入つたチュニジャ戰線における戰鬪は全線にわたりますく激烈の度を加へつゝある模樣で廿三日には最高潮に達したかの觀を呈し、チュニジャ戰開始以來の激戰を展開してゐる模樣だ、南部戰線ではモントゴメリー軍の攻擊が開始されてから既に四日戰鬪はますく熾烈の度を加へて行くばかりで、英第八軍は廿三日にはエンフイダビル西方四哩のタクルーナ地點で樞軸軍の猛烈な反擊に遭ひ白兵戰を展開、……ゐると傳へられる、モントゴメリー軍の攻擊と呼應する西部地區第一軍もメジエスエル・バブ及びブウアラダ地區で大規模な作戰を開始したが、この戰で樞軸軍は有利な地形を利して猛烈なる反擊に出て廿二日の戰鬪で英軍が却つて樞軸軍に壓迫され哩後退する有樣だつた、反樞……記者も前線報道で

敵大型船舶擊沈
獨潛水艦が地中海で

【ベルリン廿三日同盟】廿三日獨軍筋の言明によれば獨潛水艦は地中海水域において北阿反樞軸軍の輸送に從事してゐた二萬トン以上の大型船舶を擊沈したといはれ、さらに大西洋においても運營滿載した商船三隻を血祭りにあげたといはれる

『戰時與太宣傳局と改名』
局員も逃出す米戰時情報局

【東京電話】アメリカの戰時情報局はアメリカ國民に對し常に眞實を隱蔽し出鱈目の報道を行ひ議會や國民から指彈され『戰時與太宣傳局』などと惡口を叩かれてゐるが、最近ではその局員からさへ愛想を盡かされ、良心のある局員はどんく辭職してゐる、當地への情報によれば去る十七日のフイラデルフイヤ・インクワイヤ紙の報ずるところによれば、十五名の局員が一齊に連名辭職したとのことで、その理由は

政府が國民に對して事實をひたすら隱蔽する政策をとつてゐるのは戰時に於ける態度としては決して國民の士氣を昂揚させるものではない、戰時情報局の誤謬が如何なるものであるにせよ吾々としては斷じて『戰時與太宣傳局』を容認することは出來ない、繰返していふ『與太宣傳』は決して勝利を齎すものではないといふのである、その矢先昨年の『東京空襲』に關する我が公正なる發表があり、いよく國民の信賴を失ひ、流石厚顏の戰時情報局も泣き面に蜂の態である

赤軍東プロシヤ空襲

【ストックホルム廿三日同盟】ソ聯發表した

歐洲で七百三十九機喪失
反樞軸空軍

失機數は七百卅九機の多きに達したといはれる

この數はその他の歐洲各地域および北阿における喪失機數を含んでゐないから、これを加へればその損害は驚くべき莫大なものに上るものと見れる

情報局はソビエート空軍が二百機の編隊をもつて廿二日夜半東プロシヤのイスターブルグを空襲二時間にわたり軍事施設ならびに軍需工場に爆彈を投下した旨廿三日發表した

敵廿四集團殲滅へ
わが包圍鐵環陣成る

【南部太行山脈前線〇〇廿三日同盟】第廿四集團軍八萬二千を殲滅すべく廿日夜來南部太行山脈に吹きまくる疾風を衝いて晉冀豫省境接合點を目ざし要衝を踏破して怒濤の進擊を敢行したわが精鋭諸部隊は京漢線沿線より奇襲進擊した諸精銳部隊と相呼應し鄰接部隊協力下に壯烈無比な大包圍殲滅戰を展開し二十二日夕刻には各精鋭部隊は轡を並べて河南省臨淇に敵を壓縮、半徑約十五キロにわたる包圍鐵環を形成、圈内に死線を彷徨する敵一兵も剩さじと熾烈なる殲滅戰を展開中である

敵重要施設悉く覆滅

【南部太行山脈〇〇前線にて廿三日同盟】晉冀豫省境の將系軍を殲滅すべく山西省東南部より進擊せる玉田、大木、谷口、高橋、寺島、阪井の諸部隊は鐵牙城を目指して猛進、廿一日には早くも劉進の第廿七軍の居城陵川縣城を奪取、これと同時に横水鎭(陵川南方十二キロ)の敵軍司令部をも蹂躙粉碎し敵の頑强なる反擊を擊破しつゝ遮二無二前進、また山西省東南〇〇より進擊せる上田、清水、皮木原子、齋藤の諸精銳部隊も潰亂せる敵を隨所に捕捉しつゝ二十一日省境を突破して鐵脚部隊の神速ぶりを發揮、一方河南省京漢線沿線より行動を起し臨淇盆地を目指けて南下した酒井、一ノ瀨、青柳笠原、印南の諸部隊は敵第四十軍の主力を猛攻しつゝ早くも林縣を陷れ第二十四集團軍司令部所在地三井村(林縣南方十六キロ)をはじめ同地周邊の合澗鎭、鄰界村などの重要軍事施設を悉く覆滅して南進をつゞけわが三方よりする包圍鐵環に壓迫された二十七軍および第四十軍は臨淇周邊で潰亂狀態となつた新編第五軍とともに逃げ

七百卅機を喪失
米英機、獨盲爆の損害

【ベルリン特電廿四日發】獨軍當局發表によれば今年はじめから三月末までに至る間、米英空軍が獨本土及び西部占領地域で失つた爆擊機の數は四百九十一機に上つてをりその後四月廿日迄に獨高射砲部隊により擊墜されたものは三百四十八機で彼等は歐洲のみで合計七百卅九機の爆擊機を今年になつて失つてゐる、なほ右の數字は歐洲の他の地域で米英軍が失つた戰鬪機、並に北阿に於ける損失は包含されてゐない

ヒ總統スロバキヤ首相會談

【ベルリン特電廿三日發】ヒトラー總統は廿二日大本營に於いてスロバアキヤ大統領シソー・ツカ首相タノマツハ・カトロス國防相等と會見、ボルシエビズム及び英米金權主義に對する歐洲全體戰爭に關する諸問題につき重要協議を遂げた旨廿三日發表された

東プロシヤを空襲

【ベルリン二十三日同盟】ソ聯空軍は廿二日夜半東プロシヤに來襲したが、右爆擊でソ聯機二機が擊墜された

日本の將兵は親切だ
ビルマ 空軍捕虜座談會

【ビルマ〇〇基地二十二日同盟】こゝ〇〇基地の廣大な捕虜收容所には米、英、濠のほか印度、支那の捕虜も多數をり、ある者は收容所の一隅に作られた菜園の手入れに精を出しある者は洗濯をしたり水を浴びたりしてゐるそのなかでもビルマ侵攻にやつて來てわが方の飛行機または地上火器のため擊墜せられた空軍將校たちは申合せたやうに背が高く船長のやうな帽子を被つてゐるのですぐそれと判るが、一日この收容所で米英濠およびニュージーランドの空軍捕虜を一堂に集め空軍捕虜座談會を開き彼らの基地における生活の種々相およびその故國の實情を聽いて見た

問　チツタゴンにおける補給狀態は、食物などは潤澤だつたか

答　ダツケン フイルド少佐(英國人、ハリケーン戰鬪機中隊長)戰鬪機の補給には困ることがなかつたが、食物だけには全く踢らされた、新鮮な野菜など口にすることはなく食物全部が罐詰製品なのでこれには全く參つた、それに娯樂機關がないためにチツタゴンの生活は全く沙漠のなかの生活同樣だつた

問　米國兵との關係について何か聞くことはなかつたか、米國機と英國機とどちらが優秀だと思つたか

答　ダツ ケンフイルド　米國兵は全然接近する機會もなく從つてその噂も聽いたことがなかつた、米國機よりもやはり英國機の方が優秀だと思ふ、とくにわが國の戰鬪機の高々度における性能は米國機の比でない

問　なぜ米國兵と英國兵とはつき合はなかつたのか

答　アンソリニイ・クラウス中尉(ニュージーランド ハリケーン操縱者、廿二歲)つき合ふ機會が殆 ど少いうへに實際つき合はうと思つても兩者の給料に相當の差があるので步調を合せて行くことが出來ない實情にある米國の空軍中尉の給料は一月一千ルピーであるのに自分たちは五百八十ルピーに過ぎず、これでは一緒にやつて行くことは出來ないまた米國兵と英國兵とは遊ぶ場所もクラブも全然別になつてゐる、

問　英濠兵の仲はどうだ

答　クラウス　自分の知つてゐる範圍では仲良くやつてゐる、自分達濠洲、ニュージーランドから來た者には濠洲政府が特に特別危險手當を毎月の給料に加算してくれることになつてゐるので一番馬鹿を見てゐるのがそんなものが何一つない英本國兵だ

問　昆明基地の生活狀態はどうか

答　レイモンド・ダブリユー・ルシアン中尉(ピー四〇操縱者、米國人二十七歲)昆明に來てから約八ケ月になるが物價が相當高くなつてゐることは確だ、ちよつとした夕食をとると百元も拂はされるさうだ、自分達の給與は全部政府がやつてくれるのでさして心配は要らないがガソリン不足のため自動車が走らないので活動も阻害せられ、それに支那人は飛行場には絕對に寄せつけないことになつてゐるため苦力が不足し能率が上らない

問　給料はどの位か

答　ルシアン　二百九十六ドル(元とは廿對一で換算)貰ふが、使ふべき娯樂機關もなく二百ドルをニユーヨークの兩親のもとに送金、殘りを賭博で使ふ位のもので大部分のものが金を送つてゐるやうである

問　支那に來ることを最初から知つてゐたか

答　ルシアン　全然知らなかつた、印度に着いたときはじめて支那に行くと知らされ貧乏籤をひいたと思つたが、致し方がないの、精々金でも貯めるつもりでゐたところビルマにやつて來てすぐ墜ち落されてしまつた

問　最近故鄕より手紙を受取つたのは何時か

答　リチヤード・ワトソン(ウエリントン爆擊機長英國人、廿一歲)自分は國を出發する四週間前に結婚した、現在妻は英陸軍省に勤めてゐるが、この前母親のと一緒に來た手紙では一日も早く歸つて來てくれと書いてあつた、この腕輪は自分の伯母が未だ自分がロンドンにゐるとき贈つてくれたものだ、その當時ロンドンはドイツ機の爆擊が甚だしく死傷者が多數出て政府が市民に金屬類の認識票リストの攜行を奬勵、當時これがロンドンで大流行を來したことがあつた、あのときの獨機のロンドン爆擊には全く生きた氣持はしなかつた

問　米國の戰時生活はどうか

答　オウ エン・パゲツト少尉(ピー二五爆擊機操縱者、米國人二十二歲)私が昨年十二月國を出るとき東海岸ではガソリン、砂糖、コーヒーが配給制になつてゐたが最近來た母よりの手紙によるとガソリン配給制はますます嚴重となり靴もまた配給制になつたさうである

問　空軍を志願したのは何時か

答　パゲツト　大學を出るとすぐ一九四一年十二月に志願した、大學を出たときはいゝ職が澤山あり自分が空軍に志願したことに對しては母は反對したが自分はいまさらどうもならぬのでそれを取消しもしなかつた、六ケ月の訓練のへち飛行士となり船で印度カラチに上つたが、昨年二月二十

問　日本兵に對する感情はないか

答　ジヨーヂ・H・ウイルソン少尉(米國人、廿七歲、ボーイング爆擊手)墜落したとき、それから司令部に連行される途中も日本兵はとても親切に待遇してくれて、想像したのとはおよそ反對の日本兵を知つてびつくりした、自分は婚約者がありその寫眞を懷中にしてゐたが、取調べのとき一たん取上げられたのでもう返つて來ないだらうと諦めてゐるとそれから一月して遙い〇〇からはるぐこゝまで送つて來てくれた、こんな小さなことにも細い氣を配つてくれる日本兵は本當に偉いと思つた

問　この收容所についての感想は

答　ワトソン　こゝへ送られて來るまで途中咽喉が渇くと日本兵は水を遠いところまで行つて汲んで來て飮ませてくれたり、少い煙草を分けてくれたり、實に親切であつた、この收容所にしたつて待遇は上等でそれにとても自由を與へてくれるので驚ろんでをり日本兵の寬大なのには全く頭を下げたくなる

消息

海軍司政官(廿三日) 吉岡恒夫
任海軍司監督官(四)

◇池田佐忠氏(釜山臨港鐵道會社社長)廿四日朝入城

兩陛下御拜を終へさせらる

御退出の　天皇陛下【御寫眞右】と皇后陛下【御寫眞左】

天長節 午前八時宮城を遙拜

八紘一宇の榮光、大東亞の天地に治く十億の民悉く皇風に靡き、大東亞戰下われら蒼生はこゝに廿九日天長の佳節を迎へ奉る、總力聯盟では此の盛儀を壽ぎ宏大無邊なる聖恩を欽仰し奉ると共に、大御稜威の下、皇國臣民一億愈々盡忠報國の誠を致し、まつろはぬ外夷を膺懲して、大東亞戰爭の完遂に邁進する決意を固めるため『天長節國民奉祝實施要綱』を決定、廿四日各道聯盟、參加團體宛通牒した

實施方法＝當日午前七時宮城遙拜の時間を期し『國民奉祝の時間』を設定し左記要領に依り國民奉祝の途を講ずること

(一)ラジオは同時刻に『國民奉祝の時間』を放送のこと

(二)各家庭に於ては『國民奉祝の時間』に夫々宮城遙拜を行ふこと

(三)府邑面聯盟に在りては府邑面聯盟員の爲神社、神祠、學校、公會堂等適當なる場所に於て奉祝行事を行ひ、且必勝祈願を行ふこと

(四)官公衙、學校、會社、工場、船舶、各種團體等に於ては式典を行ひ、且必勝祈願を行ふこと

(五)官國幣社以下の神社、神祠に於て執行せらるゝ天長節祭には管下聯盟員を多數參列せしむること

(六)其の他の場合にありては國民各自『國民奉祝の時間』を銘記し同時刻には各在處に在りて宮城遙拜をなすこと

附記『國民奉祝の時間』の周知方法について

(1)ラジオはその禁止なき限り午前七時を期し『國民奉祝の時間』の放送を行ふにより之に依ること

(2)『汽笛、サイレン、鐘』等音響に依る合圖はその禁止なき限り前項に準じこれが周知を圖ること

(3)汽車、汽船、電車、バス等の車中その他集合の場所に於ては乘務員又は司會者は同時刻を知らすべき方法をとること

戰友の英魂安らかなれ

白衣勇士が敬虔な默禱

靖國の日——けふ廿四日午前十時十五分—良くも靖國を一つにこめて護國の英靈に敬虔な祈りを捧げたのだ、々しく散華した皇軍勇士が偲ばれて思ひは遠く北に南に硝煙の征野に馳せる、こゝ京城陸軍病院では疾風と咲き誇るその花の下にあの日の戰友の俤を偲んで、つた白衣の勇士がキツと口を結び靜かに〱頭を垂れるのだ、『擊ちてし止まむ……』どの勇士の胸も敵米英殲滅の想ひに一入に沸り遙なる靖國の杜に亡き戰友の英魂安らかなれと祈るのだ

靖國神社御親拜の同時刻全國民は心と咲き映ゆる櫻の花にも雄々しきこの足を大君に捧げまつ…

紅い頰も晴やかに

全鮮學童代表 聖地參拜團結成式

全鮮百六十萬國民學童の熱誠に應へて本社が行ふ第五回全鮮學童代表聖地參拜團、京城府及び全鮮十三道代表兒童廿九名は廿四日午前十時父兄に附添はれ本社貴賓室に集合、點呼を受けて眞新しい揃ひの國防色制服に身を包へ荷造、水筒と揃ひの姿で晴々と紅い頰を輝かす、同十一時半一行は朝鮮神宮參道鷲詞塔前で結團式を擧行

高宮本社長より八野井團長に團旗授與され正午神宮に參拜して大前に旅中の安全を祈念し額賀宮司の訓話を受け午後一時から府民館二階食堂で壯行會に入り高宮本社長以下各局部長、總督府、道、府學務關係者出席、高宮本社長の挨拶について學務局長代理中島教學官の訓示あり八野井團長及び京城代表金本圭弘君(德壽校)の力強い答辭あつて同二時半總督官邸に小磯總督を訪問、出發挨拶を行ひ宿舍花屋旅館に入つた

一行は廿五日市内見學の後廿六日午前九時十五分京城驛發列車で出發する【寫眞＝學童代表の參拜團】

米政府筋も マツク非難

【リスボン廿二日同盟】濠洲政府ならびに西南太平洋における反樞軸軍司令部はワシントンにおける統合司令部の太平洋戰略について深刻な不滿を抱き濠洲外相ハーバート・シベルトが第一聲を放つたのに引續き一隊に西南太平洋への兵力增强を要求、反樞軸陣營ははしなくも寄合世帶の醜態を暴露するに至つたが、リスボンにおける米國筋の情報によれば、マツカーサーと米國政府部内との對立は豫想以上に深刻と解される、右情報によれば、海軍長官ノツクスをはじめ米本國政府部内では

一、米軍の護送船團がフロリダ島沖において日本海軍航空部隊のために手酷い目に會はされたのに對しマツカーサーが適當な方策を事前に講じなかつた

一、マツカーサーが濠洲に駐屯してゐる空軍特に戰鬪機隊を充分使用せず、ために濠洲の北ならびにソロモン水域において日本海軍航空部隊が完全に制空權を確保するに至つた

皇民教育狀況視察

入城の武者小路、谷川兩氏

本月初旬、南京に開催した日華文化協議會に出席、日本文學、藝術を通じて東亞の指導者日本と新生中國はじめ各共榮圏内の代表者と文化交驩を遂げた小說家武者小路實篤、評論家谷川徹三兩氏は歸路北京、大同に立寄つて古代支那文化の遺址をたづね、廿三日午後十時半朝鮮ホテルに入つた

兩氏は翌廿四日午前九時、總力聯盟寺本文化部長の案內で德壽宮を訪れ朝鮮古代美術の精緻に接した上、同十時竹添町大和塾に長崎所長を訪れて同所長から半島における思想、文化、藝術の流れについて詳細な說明をうけた後、作業場、教室等に皇民教育の鍛錬をうけつゝある塾生の狀況を具さに視察

感に若くして散つた教師藤野茂子さんの美しい犧牲物語りに深く感銘しつゝ塾生一同に講演を行ひ同十一時半同所を辭去、李王家博物館に再び半島藝術をたづねた、兩氏は當夜七時半遞信事業會館で聯盟文化部主催の下に開く講演會に出席、午後十一時四十分離城一路東京へ向ふ【寫眞＝大和塾視察の武者小路、谷川兩氏】

武者小路氏は語る

私の今回の南京行についてはただ皆さんに仲良くお話をするにあつたのです、それに勉强もしたかつた、人に與へるには先づ自分から仕入れなければならないといふ意味で澤山集つた方のお話を聽きました、途中、日記を書かなかつたので記憶がどうかと思つてゐますが、歸京してから改めて考へ出して書きたいと思ひます、北京や南京では一日三回ぐらゐ各方面から呼ばれて講演などやりましたが、お蔭であとは見物と子供らへのお土産買ひ以外には何も出來ませんでした、日本は昔支那から文學を採入れて發達しましたが支那は日本から何も採入れなかつた、そのために文化がおくれたともいへませう、國も人も總べては採入れることによつて發達もし向上もするものです、例へば太陽の樣に光りと熱を發するためには宇宙からあらゆる要素を吸收すると同じだと思ひます、といふ意味で私の今回の旅行は求めるために全旅程を盡しました

谷川氏は語る

今回の旅行には私が武者小路さんをひつぱり出したのです、向うの人達に何か日本の心を與へるといふのが約束でした、然しそれは雄辯にまくし立てるといふのではなく、よく相手の語ることも聽いて歸るといふのが目的でした、私は四年前一度京城に二日間滯在したことがありましたが、その時は朝鮮の工藝美術品を研究のため二日共博物館で過しました、今回も同樣、これから李王家博物館に參ります私は約廿年前から李朝時代の燒物を集めてをりましたが、今度は金具類を見ようと思ひます、靜かな寂しい中にも美しい表現のある朝鮮美術工藝を私は限りなく愛好します、この良い藝術の中に居る半島の人達の心にはさぞ豐かなものが宿つてゐるこ とでせう、この美しさこそ朝鮮の人達の本當の姿を表徵したものと信じます

青木大東亞相

ピブン首相と會談

【バンコツク廿三日同盟】訪泰二日を迎へた青木大東亞相は廿三日午前十時ピブン首相官邸に訪問、坪上大使を交へて二時間餘りにわたり懇談を遂げたが、大東亞戰爭をあくまで勝ち拔くため日泰兩國の緊密なる協力關係を一層强化すべき點に完全なる意見の一致を見友好的雰圍氣のうちに同零時會談を終へた

堅實な選擧運動

事務所も仲良く合同で

今回立候補した五十六名の京城府議候補者は、時局下國民生活規正の一端としてその經費の節約を圖るため選擧事務所は合同で府民館に設けて運動を展開、挨拶狀も連名で一回限り有權者に發送することになつた

またその他、運動員は一切使用せず、單獨で新聞掲載は勿論のこと、立候補挨拶や政見發表もやらない、立看板、貼紙、吊ビラ、戶別訪問、電報、電話又は名刺配布に至るまで例年行ふ選擧戰の型を破つて中止

眞の推薦候補として堅實な選擧運動に足並を揃へることになつた

軍援昂揚運動

麗水の行事

【麗水】廿三日から廿九日までの間に全國一齊に行はれる軍人援護精神昂揚運動につき麗水邑でも邑聯盟及び大日本婦人會等に於ては左の如き行事を行ふことになつた

▲護國の英靈に對する讚仰運動戰歿者の墓碑及び遺骨奉安所參拜、墓地清掃、遺族慰問、護國の英靈讚仰▲婦人の軍人援護懇談會並に傷痍軍人慰問大日本婦人會が中心となり軍人援護精神の徹底、傷痍軍人の結婚斡旋、慰問袋慰問文發送等の具體的計畫▲職場の皇軍慰問官公署、銀行會社、工場等各種職場單位に於いて慰問をなす▲出征軍人家族慰問撮影寫眞業者の奉仕撮影をなし一線勇士へ送ること▲映畫會開催大日本婦人會に於いて麗水劇場活動寫眞觀覽券を購入し傷痍軍人その他遺族を招待する

周章狼狽の米當局

眞相の暴露に驚愕

本土空襲米兵處置問題に 筋違ひの抗議

堀情報局第三部長談

…ない國民であるかの如くしてゐるのは笑止の至り、しかし右のごとき米國政府の努力はともあれ、かくの如く全然知らされず一事全く眼としても米國當局の宣傳などに獰猛行爲の實態は決して掩かれない、そもそも本件に關…

…方針態度についてはすでに…ごとき公表文によって…つてゐるのである…七年十月十九日大本營…部長は次の如き趣旨の…した

…十八日帝國國土を空襲…に捕へられたる米國機…中取調べの結果、人道…たるものは今般軍律に…處分せられたり

二、防衞總司令官は同日左の布告を發出した

大日本帝國領土を空襲しわが權內に入れる敵航空機搭乘員にして暴虐非道の行爲ありたるものは軍律會議に附し、死又は重刑に處す

三、昭和十八年二月十七日帝國政府は利益代表國を通じて左の趣旨の通牒を米國政府に送達した

(イ)敵航空機搭乘員にして取調べの結果暴虐非道の行爲をなしたるものは人道の敵として所定の手續の上嚴重處分すべきも右はその參加せる軍事行動を理由とするものではない

(ロ)四月十八日帝國を空襲し捕へられたる米國兵員は取調べの結果、惡意をもつて病院、學校などを爆擊しそれと知りつゝ故意に校庭に遊戲中の學童を射擊し殺傷し、これを當然の行爲なりとして反省するところなきをもつて…してはかゝる犯行者を…

(ハ)て取扱ふを得ず、その一部はこれを死刑に處したるものである

右はあくまでも暴虐非道の非人道的行爲を理由とするものであつて、空襲の理由のみをもつて捕虜の取扱を拒否するものではない(右は現に香港を空襲し捕へられたる米國兵の如きは立派に捕虜としての待遇を受けてゐるのでも明かである)

これを要するに日本はその傳統的武士道ならびに理想にもとづき敵國人に對しては現に與へつゝあるが如く、また將來も出來得る限り人道的かつ寬大なる取扱を與ふる用意を有するものであるが、右はいふまでもなく該敵國人が人道的に行動し非人道的暴虐行爲を犯さざることを前提條件とするものである、この點に關し特に指摘したきことは敵國兵員が單に軍服を着用し軍務に服し居たりといふ理由のみにて一切の非人道的行爲に對する責任を免れ得るとなすが如き不合理極まる主張にはわが方として斷じて同意し難きことである、二月十七日附帝國政府の對米回答要旨は左の通りである

昭和十八年二月十七日附帝國政府の利益代表國を通じて…

對米通牒內容

一、帝國政府は帝國領土、滿洲國又は帝國軍の作戰地を空襲したるのち帝國の權內に入りたる敵航空機搭乘員にして取調べの結果暴虐非道の行爲をなしたるものを人道の敵として軍律會議に附し嚴重處分せんとするものにして米國政府の有する情報の如く『その參加せる軍事行動を理由として』重罰せんとするものにあらず

帝國政府の右の措置は人道を尊重し戰爭の慘禍を最少限度に止めんとする崇高なる道義觀に立脚せるものなり

二、四月十八日帝國を空襲したるのち帝國權內に入りたる米國航空機搭乘員は惡意をもつて軍事施設と還隔せる病院、學校、民家などの非軍事施設を爆擊燒夷せるが、とくに惡質なるは校庭において遊戲中の頑是なき學童を確認してことさらにこれに機關銃掃射を加へ殺傷せる事實なり、右搭乘員は前記の事實を陳述すると共にこれを當然の行爲なりと主張して反省するところなし、かくのごときものは人道の敵にして許し難き罪人たるは米國政府の諒解するところなるべし、帝國政府としては右のごとき罪人を捕虜として取扱ふことを得ず

三、右搭乘員は軍律會議における取調べの結果罪狀明白となりたるをもつて軍律に照らし死刑の判決を受けたり、尤もその大部分に對してはとくに嚴罰を行ひ一部のものゝみ死刑を執行せられたり

四、帝國政府は帝國領土、滿洲國または帝國軍の作戰地を空襲したるのち帝國の權內に入れる敵國航空機搭乘員中暴、非道の行爲を行はざりし者はこれを捕虜として取扱ふ意向なり

後三國志

出師の卷【130】 吉川英治(作) 矢野橋村(繪)

西部第二戰線(一)

當時、中國の人士が西羌の異族と呼び慣らはしてゐたのは、現今の青海省地方——いはゆる西歐と東洋との大陸的境界の脊梁をなす大高原地帶の西藏人種と蒙古民族との混合體より成る一王國をさして云つてゐたものかと考へられる。

さて——

その西羌王國と魏とは、曹操の世代から交易もしてゐたし、彼より貢物の獻もとつてゐた。羌國族が最も光榮としてよろこぶ位階勳爵などを朝廷の名を以て彼に贈與してあるので、それを恩としてゐるものだつた。

時に、魏の叡帝は、曹眞が祁山における大敗を聞いて、孔明の大軍の容易ならざる勢力を知り、遂く、使を派して、西羌の國王徹里吉にたいし、

——高原の强兵を起して、孔明のうしろを脅かし、西都の州に、第二戰線を張られたし。

と、敦讐を以て、これに行動をうながした。

同時に、曹眞からも、同じ目的の使が入國した。夥しい重寳珍器の手土産が、羌の武相越吉元帥と宰相の雅丹などに贈られた。

『曹操以來、恩のある魏國の大難です。嫁と斷れますまい』

兩相の建議に依つて、國王徹里吉は直に羌國の強兵をゆるした。

雅丹宰相、越吉元帥は、廿五萬の壯丁を集合して、やがて東方の低陸へ向つて進み出した。

西羌の高原を下るや、黃河、揚子江の上流をなす溪流が山と山の間をうねり流れてゐる。黃河の水も、揚子江の水も、大陸へ流れ出ると、眞つ黃いろに濁つてゐるがこのあたりではさう濁りもない淸澄な谷川であつた。

平和に棲んでゐた高原の蠻民は孔明の名を聞いても、どれ程な者か知らなかつたし、その武器は、實に似合はず精銳だつたので、殆どすでに蜀軍を呑んでゐるやうな氣概で、それへ臨んでゆくのであつた。

歐羅、土耳古、埃及などの西洋との交流が頻繁で、その文化的影響を、中國大陸よりも遙に早くうけてゐたこの蠻族軍は、すでに鐵で外裝した戰車や火砲を持ち、またアラビヤ種の良い馬を備へ、弓弩槍刀もすべて優れてゐるといはれてゐる。

殊に中の師團には、駱駝を用ひ、又、その上に長槍をひつさげてゆく騎駱隊もあつた。駱駝の首や轂には、澤山な鈴をさげ、その無數の鈴の音と、鐵戰車の轍りの音は、高原兵の血をいやが上にも昂ぶらせた。かくてこの大軍が、やがて蜀境の西平關(甘肅省)へ近づいてゐた頃、孔明は、いま祁山と渭水のあひだに在る孔明の所へ、

『西都の動きただならず、急遽、援軍を仰ぐ』

との早馬があつた。

孔明もこれには、はたと色をなして考へこんだ。そして、

『誰をか向けむ?』

と、つぶやいたのを聞いて、關興、張苞のふたりは、

『われ等をこそ』

と、希望して出た。

事は急だし、道程はある。しかも重大な戰を以て、一擧に決し去らねことには、總軍の不利いふまでもない。

それには、この若手こそ屈强だが、二人とも西部地方の地理は不案內である。で、孔明は、西涼州出身の馬岱をこれに添へて、五萬の兵を割き、明日ともいはず出發させた。

穀雨の低雲が曠野を馳せてゆくやうに、この援軍は西進して、忽ち、羌軍の大部隊と相對した。

『羌軍は驚くべき裝備をもつてゐる。あれを破るにはたいへんだ』

まづ高地に立つて、敵勢を一望して來た關興は、舌を捲いた容子で、馬岱と張苞にむかひ、

『鐵車隊とでもいふか。鋼鐵を以て鎧んだ戰車をつらねてゐる。鐵車のまはりには、各所、針鼠のやうに釘の如き柵を一面に植ゑ、中に兵が住んでゐる。どうしてあれを撃滅できようか。容易ならない强敵だ』

と、溜息ついて話した。

新刊紹介

▲愛國百人一首全釋(末田晃著)作品全部にわたる平易明解な解釋、附錄として上代より幕末に至るまでの愛國秀歌を收む(五十錢京城、光熙町一ノ一八二國民詩歌發行所)

▲短歌研究(四月號、五十錢、東京芝、新橋、七の十二、改造社)

▲新女性(四月號、三十錢、京城初音町二〇〇、興亞文化出版株式會社)

▲綠旗(四月號)『殺の教育と學制改革』須江杢二郎『大東亞建設と宗敎』宮內彰『農業增產の諸問題』松本誠、其他創作等、尙本號より體裁を四六倍判に改めた(五十錢、京城、初音町二〇〇、興亞文化出版株式會社)

▲國民總力(四月一日號、十錢、京城、南米倉町九、國民總力朝鮮聯盟)

▲機械化(四月號)▲滿鐵調査月報(二五八號)▲少國民文化(四月號)▲朝鮮(四月號)▲科學時代(創刊號)